



「孫中山、宋慶齡と日本」特別パネル展

2025年は孫文の逝去100年、そして孫文と宋慶齡の結婚110周年にあたります。それを記念し、2025年6月17日、中国宋慶齡基金会と公益財団法人孫中山記念会の主催、宋慶齡故居管理センター（北京）と孫文記念館（神戸）の共催で、「孫中山、宋慶齡と日本」特別パネル展が開催

されました。本展により、孫文・宋慶齡と日本との歴史的関りを振り返ることで、偉人の偉業を偲び、そこから新時代の日中関係の発展への示唆を汲み取って、日中友好事業が引き続き前へと進む一助となりますことを願ってやみません。



「孫中山、宋慶齡と日本」特別パネル展の除幕式後の記念写真（2025年6月17日）

目	次
「孫中山、宋慶齡と日本」特別パネル展 ……(1)	公益財団法人孫中山記念会役員 ……(3)
第35回孫中山宋慶齡紀念地聯席活動 ……(2)	孫文研究会通信 ……(3)
記念館ニュース ……(2)	移情閣友の会通信 ……(4)
公益財団法人孫中山記念会理事会・評議員会報告 ……(3)	編集後記 ……(4)

第35回孫中山宋慶齡紀念地聯席活動

標記の聯席活動は、2025年9月26から28日かけて広州で開催された。主催者は広州市文化广电旅游局と孫中山大元帥府紀念館、中国国民党革命委員会（略称民革）広州市委員会、広州市海珠区統一戦線（略称統戦）部、広州市中山紀念堂管理中心などである。広州市内のいくつかの孫文関連施設である辛亥革命紀念館、広州市黃花崗公園などの後援を得て開催された。

今回の聯席活動は、当初24日から26日にかけて行われる予定であったが、台風の上陸にともない、二日間の延期を余儀なくされた。開幕式は27日の午前、孫中山大元帥府紀念館の屋外広場で行われた。同活動のハンドブックの記述によれば、孫文の親族をはじめ、中国国内外の孫文宋慶齡の紀念施設の代表者103名が出席。その後、主席団会議が開かれた。おもな議題はマカオにある鏡湖医院慈善会をはじめ、7団体の新規加入の申込みに対する審議があった。慎重な議論の結果、5団体の加入が認められた。それに関連して、同聯席活動の加入基準をより明確にすべきとの議論が行われた。

午後は、広州市内の主な川・珠江に浮かぶ中洲・長島にある黃埔軍官学校旧址紀念館の参観が予定された。この学校には、一つの人工の山・八卦山があり、その頂上には約10メートルほどの高い台座があって、その上に、孫文の等身大の銅像が聳え立っている。孫文の親友梅屋庄吉（1868-1934、うめや しょうきち）の出資によって造られ、ここに運び込まれ、立てられたものである。1930年9月26日、落成式典が行われ、貴賓として招待された梅屋庄吉は挨拶のさい、感極まり、いくどか言葉を詰まらせたという。銅像の製作者は彫刻家の牧田祥哉（1880-1946、まきた しょうさい）である。



孫文銅像

この銅像の作者に関する資料を確かめるために、紀念館々長欧陽旦霽女史に伺ったところ、後日、数枚の写真が送られてきた。二年前、銅像の大規模清掃・修繕作業を行った際、作業員が銅像の台座に刻まれた文字を撮影していた。そこには、「牧田祥哉 敬作」の文字のほか、「祥哉」という篆刻もある。たったの六文字と二文字の印字ではあるが、貴重な証拠である。ちなみに、梅屋庄吉が中国に贈った同型の銅像は全部で四基あり、黃埔軍官学校のもの第二基で、そのほかの三基は、いまマカオの国父紀念館、中山大学の校庭、南京中山紀念館に、それぞれ立っている。

日程変更によって筆者は一足先に帰途に就かなければならなかった。その後は黃花崗烈士公園の参観などが予定されていた。なお、来（2026）年は孫文生誕160周年にあたる。孫文の故郷にある孫中山故居紀念館が第36回聯席活動を主催することに決まった。（主任研究員 蔣海波）

紀念館ニュース〈2025年4月～2025年9月〉

- 4月18日 就実大学100名来館
- 4月24日 神戸市立五位の池小学校42名来館
- 6月3日 神戸市立舞子中学校30名来館
- 6月17日 中国宋慶齡基金会10名来館
- 7月20日 中国福利会6名来館



中国福利会一行

- 8月29日 川崎重工業12名来館
- 9月7日 マレーシア華人団体22名来館
- 9月12日 中国国民党青年団24名来館
- 9月28日 神戸留学生会20名来館



中国国民党青年団一行

公益財団法人孫中山記念会 理事会・評議員会報告

令和7年度 第1回理事会（令和7年5月30日 中華会館）

- 議案：1. 令和6年度事業報告について
2. 令和6年度財務諸表について
3. 評議員会の招集について

報告事項：

1. 会長の選任について

以上について、説明の後すべて承認されました。

令和7年度 第1回評議員会（令和7年6月20日 中華会館）

- 議案：1. 評議員の選任について
2. 理事の選任について
3. 令和6年度事業報告について
4. 令和6年度財務諸表について

報告事項：

1. 令和7年度事業計画及び収支予算書について
2. 令和6年公益法人改正について
3. 入館状況について

以上の報告事項について、全員異議なくこれを承認した。

評議員

石川 禎浩	京都大学人文科学研究所教授
今井 晋生	兵庫トヨタ自動車株式会社代表取締役専務
王 柯	神戸大学名誉教授
緒形 康	神戸大学名誉教授
梶谷 懐	神戸大学大学院経済学研究科教授
神尾真裕美	株式会社神戸製鋼所 総務・CSR部担当部長兼総務グループ長
後藤みなみ	移情閣友の会企画運営委員長
酒井 俊	株式会社三井住友銀行 公共・金融法人部（神戸）部長
塩見 彰浩	兵庫県産業労働部国際局長
多田 欣也	公益財団法人兵庫県園芸・公園協会理事長
内藤 良介	兵庫県神戸県民センター長
鮑 悦初	株式会社廣記商行取締役会長
不破 恵子	公益財団法人神戸国際コミュニティセンター 専務理事

監事

辻 美代	流通科学大学経済学部教授
文 曉謙	一般社団法人中華会館事務局長

公益財団法人孫中山記念会役員

（五十音順・敬称略 2025.7.1現在）

理事長

花岡 正浩 TC神鋼不動産株式会社顧問役

副理事長

魚住 和晃 神戸大学名誉教授
陳 來幸 ノートルダム清心女子大学国際文化学部
学部長

常務理事

齊藤 和満 公益財団法人孫中山記念会事務局長

理事

植村 武雄 一般社団法人神戸日華実業協会会長
河内 信哉 川崎重工業株式会社総務部長
黄 磷 神戸大学名誉教授
首藤 健一 兵庫県まちづくり部公園緑地課長
瀬合 達也 神戸市経済観光局局長
(新産業・国際戦略担当)
陳 光輝 ノートルダム清心女子大学
情報デザイン学部教授
鳴尾 牧子 音楽家（二胡演奏家）
安井 三吉 神戸大学名誉教授
横川 太 公益財団法人兵庫県国際交流協会専務理事
林 同福 学校法人神戸中華同文学学校名譽理事長

孫文研究会通信

2025年度（4～9月）活動

- 『孫文研究』第75号発行（2025年6月）
- 孫文研究会夏季特別例会：（9月27日 神戸中華会館）

報告テーマ：

「英雄づくりの舞台裏－松浦史料博物館蔵「鄭成功碑銘」を読み直す」常葉大学若松大祐教授

2025年度（10月～3月）活動

- 「近代日中の情報圏と孫文論」学術講演会
日 時 11月1日（土）13：30～16：30
会 場 兵庫県立のじぎく会館ふれあいルーム（定員72名 参加無料・申込不要）
兵庫県神戸市中央区山本通4-22-15
講 師 山室信一（京都大学名誉教授）
- 『孫文研究』第76号発行（2026年2月の予定）
- 2026年度総会・研究会
日 時：2026年1月25日（日）、
13時から総会
14時から研究会
会 場：孫文記念館・講義室（二階）、
オンライン併用
報告者：播磨美有（京都大学）
タイトル：「民国期広州における精神病院とその変遷」

移情閣友の会通信

*行事等報告 (2025.4-9)

・総会・特別講演会・懇親会…6月29日(日)

2025年度総会は、6月29日(日)11時より孫文記念館ホールにて開催され、48名が出席、すべての議案が原案通り承認されました。続く特別講演会では(公財)孫中山記念会顧問・前兵庫県知事井戸敏三さんに「兵庫県の海外交流」と題してご講演をいただきました。懇親会は会場を移し、Tio舞子7階海彩園にて、44名が参加し、会員間の親睦と交流を深めることができました。



井戸敏三顧問講演の様子

・愛知大学東亜同文書院大学記念センター訪問…7月14日(月) 8名

台湾国父紀念館鍾文博さんの愛知大学東亜同文書院大学記念センターへの訪問に際し、お世話になっている藤田佳久元センター長に解説を依頼し、友の会で参加者を募り、台湾からはもう一人国立澎湖科技大学観光休憩科于錫亮教授と華僑華人研究会の川那辺康一さんで計8名が愛知大学を訪問しました。夜は「一福食堂」で親睦と交流を図り、川那辺さんが新規入会されました。



・陳舜臣入門講座「陳舜臣さんと神戸を歩こう」開講

7月19日 「陳舜臣って誰？」参加者：22名
8月16日 「陳舜臣さんと神戸を歩こう1」参加者：24名
9月20日 「陳舜臣さんと神戸を歩こう2」参加者：19名
10月18日「もっと知ろう 陳舜臣」参加者：18名
また、2026年1月18日(日) 陳舜臣ゆかりの地をたどるフィールドワークを実施予定(神戸市中央区)



陳舜臣入門講座の様子

・移情閣コンサート 4/13、4/27、5/24、6/22、7/5、9/13 於孫文記念館 参加者延べ247名

4月には世界的な二胡演奏家ジョージ・ガオ氏・友の会の会員でもある濱崎繁一氏のアンサンブル「ザ・華ルテット」、5月はhatao & namiによるケルト・北欧音楽。6月にはチェロの演奏家植草ひろみ、中国の民謡のチェロアレンジや、二胡との二重奏、7月には中国琵琶閻傑。9月は2周年記念として「雲南省ダイ族の舞」遠藤智子&松田育による華麗なる孔雀舞の世界。雲南の打楽器「象脚鼓」の演奏も。次は10/5(日)は「幽玄の胡弓」胡弓演奏家木場大輔、11/1(土)は「情熱のフラメンコ」フラメンコダンサー 永田健が登場しました。



・会員親睦活動等

・午餐会・講演会…5/21、7/23、9/17(水) 於神仙閣/第一楼 延べ31名が参加。

神戸日華実業協会と中華総商会の共催事業に参加しました。おいしい中華料理をいただいたあと、講師の話に耳を傾け、相互の親睦と交流を図ることができました。



・関帝廟普度勝会見学・精進料理を楽しむ会…8月22日(金) 関帝廟 参加者15名

廟内の礼堂にて林同福会長により普度勝会についての歴史や現況、担い手の変遷などについての説明のあと、堂内に並べられている冥宅や神殿、ご先祖や神々に対して上香してから、本堂へ祭祀されている関帝や観音、媽祖などといった神々についても、分かりやすくご解説いただき、非常に勉強になりました。最後に、普度勝会のために用意されていた精進料理をおいしくいただきました。



(移情閣友の会企画運営委員長：後藤みなみ)

編集後記

2025年は孫文の逝去100年、また呉錦堂生誕170周年、さらに移情閣建立110周年という特別な年でした。本館は「孫中山宋慶齡と日本」特別パネル展のほか、11月の孫文月間に「近代日中の情報圏と孫文論」学術講演会、さらに移情閣を撮影対象とした「呉錦堂生誕170周年・移情閣建立110周年記念写真展」を開催しました。また、4月から10月末までの中国からの来館者数が大幅な増となっており、令和7年度の来館者は過去最多となる見込みです。

(周游)

孫文記念館館報 『孫文』
第35号 (2026年1月9日発行)
発行者 公益財団法人 孫中山記念会
〒655-0047 兵庫県神戸市垂水区東舞子町2051
Tel : 078-783-7172 Fax : 078-785-3440
e-mail : sunwen20@aiores.ocn.ne.jp
URL : https://www.sonbunkinenkan.com
(題字は孫文記念館所蔵の孫文自筆の書より。ただしオリジナルは縦書き)